

〈ヤブミョウガ〉

公園の林縁にヤブミョウガが咲き出した。小さな白い花がごちゃごちゃ集まって、薄暗く陰気な林をひと際明るく照らし出している。白いかんざしのような花は遠くから見るとシラサギのようにも見え、まさに“掃きだめに鶴”だ。雨の中だったので花のつくりを詳しく観察しなかったが、帰って調べてみたら同じ株の中に雄花と雌花があるとのこと、見逃してしまった。漠然と見ては気づけないのだ。次回、じっくり観察してみようと思う。ミョウガの名前がつくが、ツユクサの仲間、本物のミョウガはショウガの仲間。どうやら葉っぱがミョウガに似ているのでヤブミョウガとなつたらしい。一つ一つの花はなかなか可愛いのに、まとまってしまうと野暮たくなってしまう。これも虫を呼びよせる作戦なのだろうか？薄暗い藪に咲く白い塊は、虫でなくとも何か引き寄せるものがある。

